

新型コロナウイルスを想定したフットロゲイニング開催における基本方針(2021 年 12 月 1 日)

2021 年 12 月 1 日 Ver.3

一般社団法人日本フットロゲイニング協会

平素より日本フットロゲイニング協会にご協力いただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスを想定した開催における基本方針、および参加者が遵守すべき事項を更新しました。あらためて感染予防への留意をお願いいたします。

当協会は大会について、内容の見直しを勧告できます。主催者が勧告に従わない場合または見直しを実施しても当該大会が当協会の要求する水準に達することが不可能な場合、当協会は当該大会をフットロゲイニングの大会として承認しません。これを了解したうえで、大会申請を行ってください。

1. 開催にあたっての基本方針

- 主催者は、**感染リスクへの対応が整わない場合は中止または延期**すること。
- 主催者は、自発的に開催地域における最新情報を収集し、開催地の自治体(都道府県・市町村)のイベント開催制限の方針に反しない形であることを都度確認すること。
 - [参考リンク・新型コロナウイルス(COVID-19) 最新情報 | 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室] <https://corona.go.jp/news/>
 - [参考リンク・令和 3 年 11 月 19 日【事務連絡】基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について] https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimu_kihon_event_ryuuijikou.pdf
※本方針の末尾に引用あり
- 主催者は、日本スポーツ協会が示す感染防止策チェックリストを活用し、適切な対策をとること。
 - [参考リンク・スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【令和 3 年 11 月 5 日更新版】] <https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>
- 主催者は、参加人数および会場の設定にあたり、同時に滞在する人数が開催地の自治体の示すイベント開催制限の収容率を上回らないようにすること。人と人とが触れ合わない間隔を確保すること。飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)を徹底すること。会場として確保したエリア外に参加者を長時間滞留させないこと。会場施設からの要請があればそれを尊重すること。
- 主催者は、**チェックポイントの所有者・地権者への利用依頼は従来以上に丁寧に行い、許可を得ること**。
 - 不特定多数の人が出入りするところ(公共施設、神社・寺院、商業施設、美術館、各施設の無料開放エリアなど)でも、所有者や管理者に必ず許可を取ってください。
 - チェックポイントの関係者が求める感染防止策があれば、特別な注意としてチェックポイント一覧や地図などに明記し、参加者へ周知してください。

2. 対策例

新型コロナ感染予防を行う一方で、それ以外のリスク対策も怠らず、わかりやすくルールを伝え、競技としての公平性を保つ必要があります。

(1)事前に大会プログラムを掲載する

参加者が大会について十分に把握できるよう、1週間前にホームページに掲載するか、書面で郵送します。
内容は大会要項のほか、タイムスケジュール、詳細な大会ルール、安全・競技上の注意や協力依頼、会場レイアウト、アクセスなど。特に、要項からの変更があれば必ず記載します。

(2)当日のルール説明は書面で行う

ルールは1人に1部ずつ書面で配布し、重要なことは掲示物でもアナウンスします。

(3)地図配布(一斉配布、受付配布)

一斉配布のほか、受付配布もご検討ください。いつ、どういう形で地図を配布するか、大会プログラムに明記します。

(4)タイムテーブルによる密集回避の工夫

会場および会場周辺に参加者が滞留しないよう、密集回避の工夫を行ってください。

一斉スタート(従来の方法・全チームがほぼ一斉にスタート)

分散スタート(グループごとに入退場を分けて、準備のできたチームがそれぞれのタイミングでスタート)

(例)

	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	後日
A	受付	スタート			(3時間)			FIN	解散					
B		受付	スタート		(3時間)			FIN	解散					結果
C			受付	スタート	(3時間)				FIN	解散				(web)
D				受付	スタート	(3時間)				FIN	解散			賞
E					受付	スタート	(3時間)				FIN	解散		郵送

合計100人(約35チーム)の場合

受付時刻によるA～Eの5グループ、各20人(約7チーム)定員で募集します。

受付などは代表者のみが並ぶようにします。

各チームのスタートは、受付時間から30分後に指定します。

受付時に、スタッフがスタート・フィニッシュ制限時間を記入したルート記入用紙を渡します。

表彰式は行わず、後日、結果を公式サイトに掲出し、上位賞品を郵送します。

スタート時間とフィニッシュ時間が重ならないようにします(動線の整理、レイアウト変更など)

(5)写真チェック

写真チェックは、下記のいずれかで簡略化できます。ただし、競技としての公平性が大きく損なわれないよう配慮してください。

- ルートの提出時に、全チームの全ポイントをチェックする
- ルートの提出後、上位チームのみ呼び出してチェックする
- 不審な点があった場合のみチェックする
- 写真チェックは行わない

(6)参加募集時に参加者に求める感染拡大防止のための措置

推奨例

参加者の皆さまには下記を遵守いただくようご協力をお願いします。遵守頂けない場合、イベントへの参加を取り消し、又は途中退場を求めることがあります。

- 以下に該当する場合は、参加をおやめください。イベント当日は、これらに該当しないことを、書面等で確認させていただきます。
 - 体調がよくない場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参し、会場での滞在時は常時着用してください。
 - 運動時にマスクを着用する場合は、熱中症に注意し、これまでよりも運動強度を落としてください。
 - マスクを外す場合は、周囲の人との距離を十分に空け、会話は控えてください。
 - 人混みが予想される場所、一般市民と交錯する場所では必ずマスクを着用してください。
 - チェックポイントなど、立ち寄り先が定める感染防止策にご協力ください。
 - 主催者が別途マスクの着用を指示する場合は従ってください。
- イベント当日、以下の情報について提出をお願いします。
 - 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※事前申込情報から変更がある場合
 - イベント当日の体温
 - イベント前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行ってください。
- 他チームの参加者やスタッフ等、一般市民との距離(できるだけ 2m を目安に(最低 1m))を確保してください(同居家族、障がい者等の誘導や介助を行う場合を除く)。
- チームメンバーとのミーティングにおいても、三つの密を避け、適切な距離を確保してください。
- イベント中に大きな声で会話、応援等を行わないでください。
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力避けてください。
- タオルの共用は行わないでください。
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにしてください。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を放置せず、また指定場所以外に捨てないでください。
- イベントへの行き帰りにおいても、三つの密を避け、マスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮してください。
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置や指示に従ってください。

推奨例以外に独自の措置を取る場合

開催地自治体の後援等を受けている大会で、後援者から十分な感染リスクへの対応がなされているとして了解を得た場合は、独自の措置を認めます。

3. 参考資料

[令和3年11月19日【事務連絡】基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について]から引用

https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimu_kihon_event_ryuuijikou.pdf

感染状況に応じたイベント開催制限等について

別紙 1

		安全計画策定（注1）	その他 （安全計画を策定しないイベント）
下記以外の区域	人数上限(注3)	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
	収容率(注3)	100%（注2）	大声なし：100% 大声あり：50%
重点措置地域	時短	原則要請なし（注4）	原則要請なし（注4）
	人数上限(注3)	20,000人 （ワクチン・検査パッケージ制度の適用により、収容定員まで追加可）	5,000人
	収容率(注3)	100%（注2）	大声なし：100% 大声あり：50%
緊急事態措置区域	時短	原則要請なし（注4）	原則要請なし（注4）
	人数上限(注3)	10,000人 （ワクチン・検査パッケージ制度の適用により、収容定員まで追加可）	5,000人
	収容率(注3)	100%（注2）	大声なし：100% 大声あり：50%

※遊園地など集客施設等については、上記の緊急事態措置区域、重点措置区域と同様の制限を適用する。

（注1）参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントに適用（緊急事態措置区域、重点措置区域においては、5,000人超）

（注2）安全計画策定イベントでは、「大声なし」の担保が前提

（注3）収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）

（注4）都道府県知事の判断により要請を行うことも可能

イベント開催等における必要な感染防止策

別紙 2

項 目	基本的な感染対策
①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	□飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる * 大声を「観客等が、⑦通常よりも大きな声量で、④反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を施さないイベントは「大声あり」に該当することとする。 * 大声を伴う可能性のあるため収容率を50%とする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底すること。 * 飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量のBGMや応援なども含む。 * 適切なマスクの正しい着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。
②手洗、手指・施設消毒の徹底	□こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施） □主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施
③換気の徹底	□法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分以上）の徹底 * 室温が下がらない範囲での常時窓開けも可。 * 屋外開催は上記と同程度の換気効果と想定。 * 必要に応じて、湿度40%以上を目安に加湿も検討。

イベント開催等における必要な感染防止策

別紙 2

項 目	基本的な感染対策
④来場者間の密集回避	□入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施 □休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築 * 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じて収容人数を制限する等、最低限人と人が触れ合わない程度の間隔を確保する。 □大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保 * 「大声あり」の場合、座席間は1席（立席の場合できるだけ2m、最低1m）空けること。
⑤飲食の制限	□飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底 □食事中以外のマスク着用の推奨 □長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛 * 発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。 □自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）

イベント開催等における必要な感染防止策

別紙2

項 目	基本的な感染対策
⑥出演者等の感染対策	☐有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する *体調が悪いときは医療機関等に適切に相談。 ☐練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 *練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検 査等の対策が必要。 ☐出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）
⑦参加者の把握・管理等	☐チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握 *接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）を活用。 *原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底。 ☐入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止 *チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること。 ☐時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

※上記に加え、自治体からの要請や各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

以上